

「TOGAF9 トレーニング・コース」(日本語コース) 開催のお知らせ

～認証アーキテクトが世界で 75,000 名を超えた世界標準の EA フレームワーク～

拝 啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、「TOGAF(トガフ) 9 トレーニング・コース」をご案内申し上げます。

ビジネスのグローバル化が進み、海外企業との連携や吸収合併、そしてグローバルサプライチェーンなどが急速に進んでいます。そして、これらを支える ICT 技術も、クラウド、ビッグデータ、モバイル、ソーシャルそして IoT など、これまで以上に激しい変化と広がりで見展しています。

このような環境に対応して自社のビジネスを維持・拡大していくためには、世界標準を見据えた ICT 戦略、すなわちオープンでビジネス志向のアーキテクチャを取り入れて行くことが肝要です。なぜならば、特定のベンダーに依存したクローズドなシステムは、環境変化への対応に莫大な時間と費用がかかり、オープンアーキテクチャを採用した企業とは競争にならないからです。

次世代 IT の標準を推進するグローバルな標準機構である The Open Group は、40 か国、500 社のあらゆる業種・規模の IT ユーザ企業および IT サプライヤ企業、官公庁、大学から構成され、ここで提供される TOGAF9 は、次のような特徴を持っています。

オープンでグローバル標準の EA 手法 (EA: Enterprise Architecture) で、「設計フェーズにおけるビジネス・イノベーションを含む要件定義の全体最適化の追求による価値の高いビジネス設計と徹底した論理性の追求により、導入後のシステムバグが大幅に減少し、再利用可能なオープン標準モジュールを構築でき、高信頼性も担保する O-DA に継げるシステム開発手法として注目されています。

この TOGAF9 は、欧米では政府機関をはじめ多くの企業で採用され、認証されたアーキテクトも全世界で 7 万 5 千人 (2018 年 1 月現在) を数えています。

日本では、2004 年以来弊社がこの TOGAF トレーニングの認定機関として、ドキュメントおよび教材の日本語化を行い、コースを開催しております。講師は経験豊富な日本の TOGAF 9 認証アーキテクトが行います。なお、TOGAF9 受講後に行われる日本語による認証テストの合格者には、The Open Group 英国本部より TOGAF 9 認証書が授与されます。

何卒、貴社のアーキテクトおよび ICT マネージャ、そして CIO の方々をアサインいただきたく
よろしく申し上げます。

敬 具

グローバル情報社会研究所株式会社 代表取締役社長
オープン・グループ 日本代表・会長
藤枝 純教